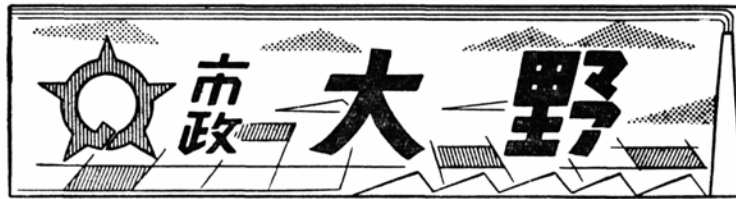


発行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-9600
夜間 6-9601
印刷 松浦印刷所



3月の人口の動き

出生	男 41	女 36	計 77
死亡	男 21	女 10	計 31
転入	男 87	女 85	計 172
転出	男 101	女 96	計 197
世帯数	9,451		
人口	44,983		
男	21,679	女	23,304

市民会館を建設 ことしの重点施策



昭和34年度の予算案などを審議する第68回定例市議会は、3月10日から15日間開かれましました。森広市長は34年度の施政方針演説で、「当市の性格内容を十分に考慮して、予算並びに重要施策の基本方針を決定した」と述べ、重点施策として次の7点をあげ、強力に実施していく方針を明らかにしました。(おもな議案は2~3面に掲載)

○ 市民会館の建設

市制10周年の記念事業として3カ年計画で市民活動の場として待望の市民会館を建設する。

○ 奥越電源開発と地域開発の促進

資材輸送道路の開発整備を促進し、積極的な水没受け入れ対策、並びに基地大野の実質的達成に努力する。また昨年に引続き工場誘致に力を注ぐとともに、既存工業の育成を図り、当市の後進性脱却と地域格差の廃除に努める。

○ 産業近代化の促進

農業および中小企業については、経営基盤の整備と施設の近代化を重点に集団化、協業化を推進するため財政金融上の措置を積極的に行い、生産性の向上を図る。

○ 保健と社会福祉の充実 生活環境の整備と、予防衛生に重点

をにおいて市民の健康増進に努める。また市民生活の均衡ある向上と社会福祉の充実を促進する

○ 道路橋梁の整備

最重要施策として例年多大の経費を投じているが、これからも道路輸送需要の増大、地域開発等に対処するため計画的整備を計る。

○ 学校教育の内容充実と 社会教育の振興

学校の新設政策は一時中止し、内容の充実を図りたい。一方、社会教育では施設の整備を行い公民館活動を活発に推進し、総合的に統一した指導を行うことにより、明朗で良識ある市民性の育成に努める。

○ 市民税の減税

市民生活の向上安定のため市民税の軽減をはかり、扶養者の税額控除を所得控除に改める。

券で納入することができます。

○持参人払い式の小切手または収入役を受取人とする小切手で、手形交換所に加入している金融機関、または当該金融機関に手形交換を委託している金融機関を支払人とし、支払地が当市内であつて、その呈示期間内に支払いのための呈示をすることができるもの。

○収入役を受取人とする郵便振替貯金払い出し証書、または持参人払い式の郵便為替証書、もしくは収入役を受取人とする郵便為替証書で、その有効期間内に支払いの請求をすることができるもの。

○無記名式の国債もしくは地方債の利札で、支払期日の来たもの。

2、支払いについて

(イ) 小切手による支払い

いままでは現金支払いでしたが、こんどの改正で小切手支払いが原則となりました。すなわち、収入役が払い出し金融機関(福井銀行、大野信用金庫)を指定した小切手で振り出される。受領者はその金融機関において現金化することになります。ただし債権者(支払いを請求する方)から申し出があるときは、1万円以下の小口の支払いに限り現金で支払いいたします。

(ロ) 口座振替による支払い

債権者が金融機関に預金口座を設けている場合、債権者の申し出があれば市の預金口座から債権者の口座へ振替え支出することができます。

3、指定金融機関

市の指定金融機関等は次の通りであります。

- (指定金融機関) 福井銀行大野支店
- (指定代理金融機関) 大野信用金庫
- (収納代理金融機関) 北陸銀行大野支店、福井相互銀行、関西相互銀行、昭和産業相互銀行、大野農業協同組合、下江農業協同組合、乾側農業協同組合、小山農業協同組合、上庄農業協同組合、富田農業協同組合、阪谷農業協同組合、五箇農業協同組合

納入、支払いの方法が変わる 4月1日から口座振替もできます

地方自治法の改正で4月1日から新しい会計制度が出来ました。この中で、とくにみなさんに関係のある、納入と支払について変わった点をお知らせいたします。

1、納入金について

今まで税金等は現金で納付することが原則でありましたが、こんごは次の方法によることができます。

(イ) 口座振替の方法

税金などを納める場合、みなさんが当市の指定する金融機関に預金口座を設けている場合は、みなさんの申し出により金融機関がその預金口座から市の預金口座に振替える方法があります。したがって税金の場合、納入通知書を金融機関に差し出し、納入期日 cameたら振替えてもらうよう手続きしておけば、期日がくると金融機関が自動的に振替えることとなります。

(ロ) 証券で納入する方法

支払いが確実に次のような場合、証

産業近代化資金融資条例を制定

52議案、3決議案を可決

新年度市政の大綱をきめる市議会は3月10日から開かれ、99年度の一般会計予算をはじめ、監査委員条例、産業近代化資金融資条例、商工審議会条例の制定、市役所課室設置条例の一部改正など52議案について慎重な審議が続けられ、24日それぞれ可決されました。

またこの会期中、大野工業高等学校の早期完全開校促進、越美北線延長(勝原一朝日間)開通促進、暴力追放の3決議案も可決されました。おもな議案は次のようです。

○職員定数条例の一部改正

公民館で行なう行政事務担当吏員を教育委員会の職員定数に繰り入れた。この結果、市長部局の職員定数は241人(9人減)になりました。

○議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

議長、副議長、議員の報酬、旅費がそれぞれ改定されました。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

これは選挙管理委員、農業委員などの報酬が改定されました。

○職員の退職手当に関する条例の一部改正

失業保険法の改正で、退職することによって失業する者に対して技能習得手当、その他の給付を退職手当として支給できるよう、国家公務員退職手当法に準じて改正されました。

○議会の議決に付すべき契約、財産の取得、処分に関する条例

地方自治法の改正に伴ない、予定価格3千万円以上の工事などの請負契約や、予定価格2千万円以上の財産の取得または処分については、議会の議決が必要となりました。

○財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例

これは普通財産や物品の交換譲渡、無償貸付について必要なことを定めたものです。

○低開発地域工業開発促進法の施行に伴う市税の特例に関する条例の一部改正

これは、工場誘致条例の優遇措置も合わせて受けることができるようにし

工業開発をさらに促進することになりました。

○工場誘致条例の一部改正

これは投資額が巨額化している現状から、条例による優遇措置の対象となる指定基準額を増額し、投下固定資本総額(土地及び無形固定資本を除く)の1千万円以上を2千万円に、工場を増設する場合は500万円以上を1千万円にそれぞれ改正されました。ただし雇用数は現行どおりです。

○消防団員給与と条例の一部改正

これは消防団員の職務報酬が付加されたほか団員の報酬が改善されました。

○幼稚園設置条例の一部改正

4月1日から富田幼稚園(富田小学校に併設)が開校されます。これで市立幼稚園は土庄、坂谷、乾畑と合わせて4園になります。

○清掃条例の一部改正

これは地区保健活動推進会の発足に伴ない、従来の清掃委員制度を改め、地区民の自主制を主体とした、総合的な保健衛生事業を推進することになりました。

○市役所課室設置条例の一部改正

これは観光行政を図り、現実在即感させるため、商工課を商工観光課に改称しました。

○国民健康保険基金条例の制定

これは保険給付に必要な費用が不足した場合の財源にあてるために、国保会計の剰余金を積立てていくことになりました。

○産業近代化資金融資条例の制定

これは農業や商工業の振興をはかるため、近代化資金の融資とこれに必要な利子補給を行う資金適用の適正を期すため、資金融資運営審議会が置かれ

ます。

○商工審議会条例の制定

これは商工行政の充実を図るため、商工審議会を設置して、商工業の合理化、近代化などの必要な事項を調査審議し、市長に答申または建議する機関です。

○手数料徴収条例の一部改正

これは資材価格の増加などのため、家畜人工授精手数料のうち施術料がそれぞれ100円増額されました。

○市道編入の認定

これは真名川堤防西線(富田大橋から市道友江、堂本堤防線交点まで延長800m、幅員3.6m)で、この市道は衛生処置場を結ぶ重要路線です。

○固定資産評価審査委員の選任

任期満了となった寺島四郎氏の後任に中保の正津一夫氏(61)が選任されました。

○昭和38年度一般会計、特別会計追加更正予算

一般会計追加予算 510万5千300円
おもなものは都市計画費904万9千円、清滝川の改修負担金その他205万円、森山スキー場ロッジ施設189万円、農業構造改善費672万6千円、大野ライスセンター補助434万5千円などが追加されました。また減額されたものは災害土木復旧費363万8千円などです。これで予算総額は7億5千147万9千900円となりました。

国保会計追加額 1千48万6千円

これは世帯主に対する7割給付の実施と、地域による価格差の是正による追加分です。

○市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

これは99年度分の固定資産税、都市計画税に限り例年より第1期分の納期は5月20日から6月1日までになりました。なお同課税台帳の縦覧期間は4月1日から20日まで、異議の申出は30日までです。

バイパスに変る一番線

本年中に道路補装

三番通りの交通を緩和するため、都市計画街路として、本町通りと2級国道岸井・松本線を結ぶ計画は97年から1千800万円を投じて用地買収と物件の移転が進められてきましたが、このほど建物の立ち退きもほぼ終わりました。

ことしは事業費650万円で延長15.9m幅員11mの舗装道路が完成し、将来はバイパス道路として交通緩和に役立つものと期待されています。

この工事が完成すると同線は六間通りと結ばれるため、引き続き有終西校前の拡張工事に着手する予定になっています。

昭和39年度の予算規模は一般会計6億1千750万9千円、特別会計1億546万8千円となり、38年度に比べ僅かに下まわる(約440万円減)規模になりました。歳入では減税を行なった反面、地方交付税は増額となっています。

支出面では特に諸産業の近代化を促進するための産業近代化資金や、市民会館建設費などが大幅に計上されました。予算の編成はもつぱら投資的経費に重点が振り分けられています。なお本年度から予算書の様式が改正され、職員給与費などの計上は、それぞれの事業別に組まれわかり易くなりました。

(歳 入)

自主財源 3億5千455万7千円

①市税 2億7千731万8千円

市民税1億738万6千円、固定資産税1億2千29万6千円、たばこ消費税2千475

万円、電気ガス税の1千610万円などです。

②分担金及び負担金 461万7千円

道路舗装分担金などの447万円と、学校安全協会保護者負担金14万7千円です。

③使用料及び手数料 1千240万5千円

市営住宅や幼稚園などの使用料653万1千円と、戸籍の謄抄本をはじめ諸証明、予防接種などの手数料587万4千円です。

④財産収入 78万9千円

市有地の貸付収入と農漁生産物売り払い収入72万1千円などです。

⑤繰越金 1万円

⑥諸収入 5千941万8千円

これまで市が産業(農業)近代化のため貸し付けした金の戻し入れと、国民年金印紙売りさばき手数料などです。

依存財源 2億6千295万2千円

①地方交付税 1億3千500万円

これは国の基準によつて算出した、市の収入と支出の差額を国から交付されるもので、このうち普通交付税は1億1千万円となっています。

②国庫支出金 5千107万5千円

市が国から委任されている生活保護費負担金2千30万円などの国庫負担金と、都市計画費や各種の補助金711万9千円、委託金187万8千円です。

③県支出金 3千571万5千円

林道災害復旧費1千367万9千円。負担金1千876万4千円と、農業構造改善事業をはじめ各種補助金1千470万6千円委託金224万5千円です。

④寄附金 1千686万2千円

道路、橋梁の改良寄付金640万円と空中防除寄付金約1千万円などです。

⑤市債 2千430万円

市民会館建設債の1千万円、都市計画事業(街路事業債)700万円などです。

一般会計
当初予算

総額6億1千750万9千円

(歳 出)

消費的経費 2億7千372万7千円

①人件費 1億9千346万円

議会議員、市長、市職員の給与、諸手当、各種委員の報酬と共済組合の負担金および恩給です。

②需要費 7千327万円

市政執行に必要な経費で、備品費(小、中学校の備品を含む)の857万9千円、消耗品、燃料、各種負担金補助金などです。

③維持修繕費 699万7千円

学校をはじめ公共施設の修繕費556万9千円、公共建物の火災保険料149万4千円です。

扶助費 3千603万5千円

生活保護家庭の扶助費2千542万5千円をはじめ、老人福祉費709万1千円と準保護家庭の児童に対する給食費や学用品補助などの994万5千円などです。

投資的経費 1億9千486万9千円

①総務費 1千279万円

市民会館の建設費1千15万円と大図書館の負担金です。

②民生費 83万8千円

生活困窮者に対する生業資金の貸し

付けと季節託児所の開設費の補助などです。

③衛生費 390万円

簡易水道工事に対する補助金200万円と、じん芥収集車の購入費です。

④労働費 462万2千円

これは失業対策費です。

⑤農林業費 6千573万3千円

昨年より農業費は1千698万8千円、林業費は51万5千円増額されました。

①農業費 5千687万9千円

農業の経営改善費1千201万円、構造改善費1千258万9千円、空中防除費(クロカメ防除を含む)1千104万7千円土地改良事業費588万9千円、園芸、畜産振興費1千284万1千円(乳牛導入および施設に対する貸付金は1千111万円)などです。

②林業費 885万4千円

林道の開設や補修費150万円、市有林造成事業費558万4千円と造林補助など177万円です。

⑥商工費 4千179万8千円

商工業の設備近代化促進のための経費9千994万8千円と、(貸付資金9千500万円)観光事業費55万円、各種補助金130万円です。

⑦教育費 280万円

下庄中などの学校施設の拡充に120

万円、公民館施設に160万円です。

⑧土木費 6千112万8千円

道路費、橋梁費や都市計画費など総額で昨年より2千627万2千円が増額されました。おもなものは道路や橋の新設、改良と補修費9千706万7千円、都市計画道路の土地収用費、公園整備など都市計画費1千462万1千円、ダンプカーの購入費190万円などです。

⑨消防費 126万円

小型動力ポンプ2台と消火栓10基の新設費です。

災害復旧費 2千265万1千円

土木施設 546万9千円

農地施設 178万4千円

林道 1千539万8千円

いずれも36年度の地震と台風による災害復旧費です。

公債費 8千677万2千円

すでに実施してきた学校建設(西校下庄小、尚徳中など)災害復旧、衛生処理場などの建設費に当てるために借り入れた市債の元金および利子の返済です。

繰出金 243万5千円

予備費 100万円

(歳入は目的別に、歳出は性質別に掲載しました)



704人が門出

ことしの成人式

ことし成人になる若人704人(男301人、女403人)の新しい門出を祝福する市の成人式は、3月15日、有終中学校で約450名が出席して盛大に行なわれました。

森市長の式辞のあと杉本市教育委員長からの激励のことがあり、これに応じて成人者を代表して広田繁実君

(上野)が謝辞をのべましたこのあと感想文選入者の発表。ついで服部正・大阪社会事業短期大学教授の記念講演を聞き、心づくしの昼食に舌つづみを打ちながらグリーンエコーズ、大野混声合唱団らのアトラクションを楽しみ、記念撮影のち、なごやかなふんいきの内に成人式を終えました。

- なお感想文入選者は次のとおりです
- 【成人感想文】1位植田健治(吉) 2位大葎原勝一(新栄町) 3位野田八重子(木本)
- 【新有権者感想文】1位松山泰美(上野) 2位田中絹子(右近次郎) 〃 山本靖夫(小矢戸) 3位大葎原勝一(新栄町) 〃 源内勢子(森山) 〃 松田訓夫(新庄)

市の人事異動(4月1日付)

- 総務課長 松原 勇(富田公民館長)
- 農務課長 松田 正治(総務課長)
- 出納課長 浅山 透(出納係長)
- 教委庶務課長 村中 清(建設課係長)
- 小山公民館長 松本時哉(小山公民館)
- 富田公民館長 松陰 旭(農務課長)
- 下庄公民館長 酒井新左エ門(税務課係長)
- 第1賦課係長 西田 忠(税務課)
- 福祉庶務係長 安川清治(福祉事務所)
- 会計係長 山中 幸蔵(市民課)
- 管理係長 松本 才市(福祉事務所)
- 総務課 木下 数照(建設課)
- 市民課 深美不可止(林務課)
- 〃 大石みさ子(商工課)
- 〃 宮川 忍(乾側公民館)
- 〃 木下 文子(下庄公民館)
- 商工観光課 宮田きぬ子(市民課)
- 税務課 佐藤 善夫(富田公民館)
- 〃 竹内 安注(市民課)
- 保険衛生課 神谷 芳恵(税務課)
- 建設課 山川 奥久(農場)
- 福祉事務所 桜田 達夫(税務課)
- 〃 早川 三郎(〃)
- 〃 広瀬 俊子(総務課)
- 出納課 三井 文郎(〃)
- 〃 長谷川なみ(〃)
- 義景保育所 藤堂 純子(春日保育所)
- 春日保育所 高橋 道代(義景保育所)
- 小山公民館 玄覚 慎吉(福祉事務所)
- 下庄公民館 松田八重子(市民課)
- 富田公民館 石倉 善一(教委)
- 大野公民館 松山 幸雄(税務課)
- 教委庶務課 小池 好孝(保健課)
- 社会教育課 石塚多鶴子(市民課)
- 教育委員会付 山村清太郎(庶務課長)
- 〃 土谷 好文(下庄公民館長)

予防注射日程

◎第1期腸バラチフス

(1回目) (2回目) (3回目) (会場)

4月6日	4月13日	4月20日	五箇公民館外
7日	14日	21日	下庄公民館
〃	〃	〃	上庄 〃
8日	15日	22日	阪谷 〃
〃	〃	〃	富田 〃
9日	16日	23日	大野 〃
〃	〃	〃	乾側 〃
10日	17日	24日	大野 〃
〃	〃	〃	小山 〃

○時間はいずれも午後1時~2時(五箇地区を除く)

○対象者 昭和35年1月1日~同年12月31日までの出生者

○手数料 1回 10円
3回受けなければ効果がありません

◎第1回狂犬病

- 4月7日 9時~11時 小山公民館
- 〃 1時~4時 春日大貨前
- 9日 9時~11時 一番下消防車庫前
- 〃 1時~4時 乾側公民館
- 11日 9時~11時 曙 城東会館前
- 14日 1時~4時 下庄公民館
- 〃 9時~11時 中休農協前
- 16日 9時~10時 松丸分校
- 〃 10.30分~11.30分 阪谷公民館
- 1時~4時 富田公民館
- 21日 9時~11時 吉分校
- 〃 1時~4時 上庄公民館
- 23日 9時~4時 大野保健所
- 28日 9時30分~11時 五箇公民館
- 〃 1時~3時 上打波農協前

手数料 480円

あほなこっちゃん
入学金、授業料値上げ
 合格しました、あしからず
 息子
 親爺殿
 アホナコッチャ!

義は大である。優しい民族性を具現してこそ、その意

国は温帯圏に属し、季節風帯の地理的条件から、世界的な森林地帯を構成してきた。それが荒廃した国土に変わった今日、何をいってももの緑の山野にするのは、国民的義務であり急務であることは論をまたない。▼たまたま東京を結ぶ周辺の観光地道路の両側にはくさぐさの草花を植えて、行き先の目印し案内にするといった計画があることを聞いた。これが事実ならまことに当を得た話で、例えば日光街道をコスモス街道とか、御幣使(ミヘシ)街道を菊街道とか呼んだとしたらきつと彼等も喜ぶに違いない。▼当市にあつても各種団体や一般家庭も、いまこの記念植樹の苗木を注文し、植樹している。緑化運動や花一ぱい運動と相まって山野に街路に、校庭に公園に家庭に、これらの樹木が生い茂り、咲き匂うとしたら……。東京五輪は単に金メダルのみにこだわらず、美しい日本の国土と優しい民族性を具現してこそ、その意



▼東京オリンピック開催の年に当って、国家の各種記念行事の一つに記念植樹があるが、これは実によい事だと思ふ。「植える木のびる木のびる国」ではないが、樹木は年輪を加えるだけ生長してやまない。いわばウツがなく忠実であるからだ。▼林産資源の需要は、産業の発展と共に近年ますます高まってきた。もともとわが